

第1日 3月20日(日) 9:00~10:45

時間	果樹 I 1	野菜 I 2	野菜 II 3	花き I 4	利用 I 5
9:00	<p>カンキツ I 清水徳朗</p> <p>果 001 カンキツへの通電処理が樹体生育に及ぼす影響 ○岡田聡一郎¹・菊地毅洋¹・高橋知花¹・工藤りか²・山本敬司² (¹愛媛農研果樹研セミかん研,²(株) 四国総合研究所)</p>	<p>遺伝子解析 (キュウリ・トマト) 藤本龍</p> <p>野 001 <i>Pelota</i> のウイルス誘導性ジーンサイレンシングはキュウリ (<i>Cucumis sativus</i>) にペゴモウイルス抵抗性を付与する ○小野内美佳¹・岡本桃花²・森涼馬²・小枝壮太^{1,2} (¹近畿大院農学研究所,²近畿大農学部)</p>	<p>栽培(コマツナ) 中野明正</p> <p>野 025 コマツナのルテイン含量に対する品種・栽培時期・生育ステージ等の影響 ○宮澤直樹¹・馬場隆¹・石本太郎^{2,3}・堀江秀樹^{2,3} (¹東京農林総研セ江戸川分場,²東京農林総研セ食技セ,³東京産技研セ食技セ)</p>	<p>栽培・作型 I 廣住豊一</p> <p>花 001 新型根域環境制御装置 (N.RECS) による根域加温がクルクマの切り花生産に及ぼす影響 ○村松嘉幸・鈴木雅也・中島綺香・山村勇太・窪田聡 (日本大生物資源科学部)</p>	<p>カンキツ(色索) 古藤田信博</p> <p>利 001 カンキツ果実におけるキサントフィルのエステル体含量の季節変動および関連遺伝子の発現解析 ○山本将士¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・島田武彦³・藤井浩³・遠藤朋子³・加藤雅也^{1,2} (¹静岡大院総合科学技術研究所,²静岡大農学部,³農研機構果樹茶部門)</p>
9:15	<p>果 002 ワンシュウミカンにおける AI を活用した樹体水分ストレス推定技術の開発(第1報) 深層学習による樹体水分ストレスの推定 ○谷口敦也¹・須崎徳高²・菅原康太郎²・湊英也³・中北創太¹・白石和章¹ (¹鳥羽商船高専,²三重農研紀南,³三重紀州農改普及セ)</p>	<p>野 002 Tomato leaf curl New Delhi virus (ToLCNDV) 抵抗性を有する新たな育種素材における QTL の同定 ○山本千尋¹・山本浩登¹・藤代康平²・永野樺^{3,4}・小枝壮太^{1,2} (¹近畿大院農学研究所,²近畿大農学部,³慶應大先端生命研,⁴龍谷大農学部)</p>	<p>野 026 UV-B 照射後の青色光照射がコマツナの生育、機能性成分および DNA 損傷に及ぼす影響 ○彦坂晶子・朝野翔一・後藤英司 (千葉大学園芸学研究院)</p>	<p>花 002 LED 防犯灯による終夜照明照度がアサガオ「恋しくれ」の開花数推移に及ぼす影響 ○田旗裕也 (東京農総研)</p>	<p>利 002 培養した「太田ポンカン」のフラバドにおけるカロテノイド、クロロフィルおよびジベレリン代謝に及ぼすジベレリンの影響 ○望月春奈¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・加藤雅也^{1,2} (¹静岡大院総合科学技術研究所,²静岡大農学部)</p>
9:30	<p>果 003 ワンシュウミカンにおける深層学習を活用した樹体水分ストレス推定技術の開発(第2報) AI アプリを活用したマルチドリ方式高品質果実生産の実証 ○須崎徳高¹・菅原康太郎¹・湊英也²・白石和章³・谷口敦也³・中北創太³ (¹三重農研紀南,²三重紀州農改普及セ,³鳥羽商船高専)</p>	<p>野 003 日蘭トマト品種を用いた二次木部組織発達における遺伝学的解析 ○遠藤あずみ¹・林知宏¹・小嶋美紀子²・竹林裕美子²・大山暁男³・榎原均^{1,2}・中園幹生¹・高橋宏和¹ (¹名大院・生命農,²理化研,³農研機構野菜花き研)</p>	<p>野 027 C と N の相互作用に着目したコマツナの生育および品質変動の解析 ○井田安澄・甲斐貴光・岩崎泰永 (明治大農学部)</p>	<p>花 003 成長点近傍への高温処理が夏秋輪ギク「精の一世」の生育・切り花形質に及ぼす影響 ○白石和弥 (福岡農総試)</p>	<p>利 003 「山下紅早生」における β-Citraurin 代謝に関わる Carotenoid cleavage dioxygenase (CCD) 遺伝子の発現および機能解析 ○加藤美紀¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・加藤雅也^{1,2} (¹静岡大院総合科学技術研究所,²静岡大農学部)</p>
9:45	<p>カンキツ II・パパイア 山本雅史</p> <p>果 004 音響ベクトルによる無核カンキツ新品種「瑞季」のす上がり発生の非破壊検出 長坂京香¹・竹岡賢二²・松岡真希²・金好純子²・西村和紗¹・元木航¹・山崎彬¹・○中野龍平¹・中崎鉄也¹ (¹京都大院農学研究科,²広島総研農技セ)</p>	<p>遺伝子解析(アブラナ科) 田中義行</p> <p>野 004 Transcriptional association of mRNAs and their paired natural antisense transcripts following <i>Fusarium oxysporum</i> inoculation in <i>Brassica rapa</i> L. ○ Akter Mst. Arjina・Mehraj, Hasan・藤本龍 (神戸大学大学院農学研究所)</p>	<p>栽培(アブラナ科・エダマメ) 高田敦之</p> <p>野 028 種子に対する超音波処理が高温条件におけるケールの生育とグルタチオンに及ぼす影響 ○水島純太郎¹・高橋加奈²・鈴木克己³・切岩祥和³ (¹静岡大院総合科学技術研究所,²(株) ファンケル総研,³静岡大農学部)</p>	<p>栽培・作型 II 金地通生</p> <p>花 004 炭酸ガス施用と換気温度が冬季におけるスプレーギクの生育に及ぼす影響 ○木田理紗子¹・菊地あすか¹・沼尾貴延² (¹栃木農試,²栃木県農大)</p>	<p>利 004 ブラッドオレンジ培養砂じょうにおけるアントシアニン代謝に及ぼす DNA メチル化阻害剤および温度の影響 ○古島奈実¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・加藤雅也^{1,2} (¹静岡大院総合科学技術研究所,²静岡大農学部)</p>
10:00	<p>果 005 カンキツにおけるジベレリンの低濃度散布の花芽抑制効果と機能性展着剤の検討 ○山名宏美¹・山口秀一¹・河瀬憲次² (¹宮崎県総合農業試験場,²河瀬技術士事務所)</p>	<p>野 005 Prospects for increasing the density of genetic markers in Chinese cabbage linkage map using GRAS-Di technique ○ Mehraj, Hasan・安田剛志・藤本龍 (神戸大学大学院農学研究所)</p>	<p>野 029 フロコリーの花蕾の有無が蒸散量に及ぼす影響 ○中川ほのか¹・松永明子²・佐々木英和³・谷口大基¹・後藤丹十郎¹・北村嘉邦¹・吉田裕一¹・安場健一郎¹ (¹岡山大院環境生命科学研究所,²農研機構野花研,³農研機構東北研)</p>	<p>花 005 高 CO₂ 順化したバラ個葉の CO₂ 濃度および O₂ 濃度に対する光合成反応 ○佐橋琴那¹・林俊介²・田中義行²・土井元章² (¹京都大農学部,²京都大院農学研究所)</p>	<p>カンキツ (機能性成分・鮮度保持) 森仁志</p> <p>利 005 カンキツ果実のノビレチン生合成の調節におけるフラボノイド O-メチルトランスフェラーゼの役割 ○中田明里¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・加藤雅也^{1,2} (¹静岡大院総合科学技術研究所,²静岡大農学部)</p>
10:15	<p>果 006 パパイア黒腐病菌に対する薬剤感受性と圃場でのキャプタン散布効果 ○花々崎敬資¹・澤嶋哲也¹・河野伸二¹・山城麻希² (¹沖縄県農業研究センター,²沖縄県中部農業改良普及センター)</p>	<p>野 006 アブラナ科白さび病菌 (<i>Albugo macrospora</i> (Togashi) S. Ito) に対する <i>Brassica rapa</i> L. と <i>Eruca sativa</i> Mill. の属間交雑系統における細胞レベルの宿主反応 (第8報) ○上西愛子¹・渡邊清二¹・岡本昌広¹・大矢武志¹・北宜裕² (¹神奈川農技セ,²日大生物資源)</p>	<p>野 030 エダマメの閉鎖花に及ぼす日射量および温度の影響 ○宮郷日奈¹・塚越寛²・中野明正³・淨閑正史⁴ (¹千葉大園芸学部,²千葉大環境健康フィールド科セ,³千葉大 IMO,⁴千葉大院園芸学研究院)</p>	<p>花 006 バラ栽培温室における頭上撮影動画の取得とその活用による採花枝の成長ステージの画像認識 篠田理沙¹・元木航²・中野龍平¹・中崎鉄也¹・宮坂寿朗 (京都大院農学研究所)</p>	<p>利 006 胆汁酸受容体 TGR5 の新規活性物質の同定 ○松本陽美¹・Zohra, Fatema Tuz²・中山秀幸³・光武進^{1,2}・古藤田信博^{1,2} (¹佐賀大院先進健康科学研究科,²鹿児島大院連合農学研究科,³佐賀県衛生薬業センター)</p>
10:30					<p>利 007 エディブルコーティングによるスタチ果実の品質保持に関する研究 ○岡田留伊¹・平夏樹^{1,2}・赤木剛士^{1,3}・牛島幸一郎^{1,3}・久保康隆^{1,3} (¹岡山大学大学院環境生命科学研究所,²三菱ケミカル,³岡山大学農学部)</p>
10:45					

第1日 3月20日(日) 10:45 ~ 12:30

時間	果樹 I 1	野菜 I 2	野菜 II 3	花き I 4	利用 I 5
10:45	<p>ビワ・ウメ・モモ 中野龍平</p> <p>果 007 ビワ '大房' 果実の寒害と気温の関係および栽培適地判定マップの開発 ○小野瀬優哉¹・葛木康徳^{1,2} (¹千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所特産果樹研究室, ²千葉県安房農業事務所)</p>	<p>遺伝子解析 (トウガラシ) 菅野明</p> <p>野 007 トウガラシ (<i>Capsicum annuum</i>) 果実の辛味変動に関する転写調節因子の探索 ○近藤文哉¹・熊埜御堂由依²・根本和洋³・松島憲一³ (¹信州大学総合医理工学研究所, ²信州大学農学部, ³信州大学術研究院(農))</p>	<p>栽培 (タマネギ) 安場健一郎</p> <p>野 031 ドローン空撮画像による生育指標の推定 ○山内大輔・山本岳彦・木下貴文・奥聡史・室崇人 (農研機構東北研)</p>	<p>栽培・作型 III 窪田聡</p> <p>花 007 鉢花の成長に及ぼす新規の木質培地の影響 ○札幌高志^{1,2}・秋葉裕太³ (¹兵庫県立淡路景観園芸学校, ²兵庫県大院緑環景観マネジメント研究科, ³大建工業株式会社)</p>	
11:00	<p>果 008 Molecular role of <i>PmDAM6</i> on multiple phytohormone metabolism in Japanese apricot vegetative buds ○向子帆¹・山根久代¹・高居恵愛²・田尾龍太郎¹ (¹京都大院農学研究科, ²石川県立大附属農場)</p>	<p>野 008 トウガラシのパニルルアミン合成遺伝子 <i>pAMT</i> とナス科植物オオソログの系統関係および酵素活性 ○日下宏和¹・中里彩夏²・佐野香織³・古旗賢二²・大野翔¹・土井元章¹・田中義行¹ (¹京都大院農学研究科, ²城西大院薬学研究科, ³城西大理学部)</p>	<p>野 032 品種および栽培密度が異なるタマネギにおける群落受光率とカメラ画像による植比率との関係 ○奥聡史・木下貴文・山本岳彦・日浦聡子・山内大輔・室崇人・塚崎光 (農研機構東北研)</p>	<p>花 008 食用花 <i>Viola</i> の屋内人工光利用型噴霧水耕栽培 ○金地通生¹・足立優佳¹・佐藤滋¹ (¹神戸大学大学院農学研究科, ²キュービー株式会社)</p>	
11:15	<p>果 009 開花前の高温がウメ 'NK14' の花器生育および着果に及ぼす影響 ○綱木海成・城村徳明・稲葉有里 (和歌山果樹試うめ研)</p>	<p>野 009 トウガラシの低辛味成分カプシノイド含量の増強に関わる遺伝子座の探索 ○根本和香那¹・杉山立志²・大野翔¹・土井元章¹・田中義行¹ (¹京都大院農学研究科, ²東京農大農学部)</p>	<p>野 033 タマネギ春まき作型において品種および定植日を異にした場合の乾物生産からみた収量変動要因の解析 ○木下貴文・林智仁・山本岳彦・山内大輔・室崇人 (農研機構東北農研)</p>	<p>花 009 山口県育成小輪系ユリにおける子球養成時のりん片の有無と育苗期間が球根サイズに及ぼす影響 ○福光優子^{1,2}・尾関仁志²・林孝晴²・北村嘉邦¹・後藤丹十郎¹ (¹岡山大院環境生命科学科, ²山口農総技セ)</p>	
11:30	<p>果 010 モモ選果における深層学習を用いた複合的な内部形質予測 ○内田里佳¹・藤田尚子¹・増田佳苗¹・安江隆浩²・宮本善秋²・内田誠一³・赤木剛土^{1,4} (¹岡山大院環境生命科学研究所, ²岐阜中山間農研, ³九州大院システム情報研究院, ⁴JST さきがけ)</p>	<p>遺伝子解析 (アスパラガス・タマネギ) 平田翔</p> <p>野 010 アスパラガスの雌雄性に連鎖した共優性マーカーの適用性について ○菅野明・赤堀真子 (東北大院生命科学研究所)</p>	<p>野 034 タイムラプスカメラを用いたタマネギの球肥大曲線の作成 ○桑原萌¹・酒井治¹・五十嵐俊成²・柳田大介¹ (¹北海道北見農試, ²北海道中央農試)</p>		
11:45	<p>ニホンナシ 高田教臣</p> <p>果 011 収穫期および貯蔵前の加温処理がニホンナシ '千葉 K3 号' の維管束褐変の発生に及ぼす影響 ○印南一生・押田正義 (千葉農林総合研セ)</p>	<p>野 011 タバコ BY-2 培養細胞を用いたタマネギ由来フルクタン代謝酵素の細胞内局在観察 ○澤崎由紀子¹・上野敬司²・奥聡史³・小野寺秀一²・藤野介延¹・志村華子¹ (¹北大院農, ²酪農大院食品栄養科学, ³農研機構東北研)</p>	<p>成分・施肥 (イチゴ・トウガラシ・コマツナ) 松永啓</p> <p>野 035 イチゴ '桃薫' およびその改良を目的とした種間雑種系統の香气成分解析 ○中井遼介¹・片岡園²・野口裕司² (¹アヲハタ (株), ²農研機構野菜花き研究部門)</p>		
12:00	<p>果 012 ニホンナシ '豊水' の樹体ジョイント仕立てにおける連結部切断処理が果実品質の均一性に与える影響 ○飯村夏帆¹・瀬古澤由彦²・菅谷純子² (¹筑波大学生命環境学群生物資源学類, ²筑波大学生命環境系)</p>		<p>野 036 <i>Capsicum annuum</i> および <i>C. chinense</i> の栽培種間における果実の揮発性成分組成の違い ○野田朋那¹・蓮真海¹・上吉原裕亮²・小枝壮太¹ (¹近畿大院農学研究科, ²日本大生物資源科学部)</p>		
12:15			<p>野 037 コマツナ生産におけるアシドロコンポストの有機質肥料としての有用性 ○山崎祐史¹・浄関正史²・塚越寛³・中野明正⁴ (¹千葉大院園芸学研究科, ²千葉大院園芸学研究科, ³千葉大環境健康フィールド科セ, ⁴千葉大 IMO)</p>		
12:30					

第1日 3月20日(日) 14:00~15:45

時間	果樹 I 1	野菜 I 2	野菜 II 3	花き I 4	利用 I 5
14:00	<p>遺伝子解析 I・不和合性河井崇</p> <p>果 013 セイヨウナシとニホンナシの自殖 F2 集団でみられる雄性不稔性の組織学的特性と遺伝様式 ○吉田眞雪¹・森本拓也²・松田悠之介²・武田征士²・白澤健太³・板井章浩² (1)京都府立大生命環境科学部,²京都府立大生命環境科学部,³かずさ DNA 研)</p>	<p>育種 (トウガラシ) 有泉亨</p> <p>野 012 整枝および温度条件がロコトウガラシ (<i>Capsicum pubescens</i>) の収量性に及ぼす影響 ○鳥羽侑樹¹・車田翔平^{1,2}・畠山佳奈実^{1,3}・根本和洋⁴・松島憲一⁴ (1)信州大院総合理工学研究科,²トキタ種苗(株),³(有)八幡屋磯五郎,⁴信州大学術研究院(農))</p>	<p>栽培 (ウリ科) 堤一礼</p> <p>野 038 キュウリの養液栽培におけるケイ酸資材の簡易的導入法の効果検証 ○飛田まい¹・淨閑正史²・塚越寛³・中野明正⁴ (1)千葉大園芸学部,²千葉大院園芸学研究院,³千葉大環境健康フィールド科,⁴千葉大 IMO)</p>	<p>遺伝子解析 I 江角智也</p> <p>花 010 セントポーリア 'キラウエア' アントシアニン低蓄積型変異体では FNS II の発現が減少する ○倉田大地¹・笹部由梨¹・津崎智久¹・立澤文見²・平川英樹³・白澤健太³・細川宗孝^{1,4} (1)近畿大農,²岩手大農,³かずさ DNA 研,⁴近畿大学アグリ技研 (ATIRI))</p>	<p>品質評価・流通 加藤雅也</p> <p>利 008 質量分析計を用いた MRM 法によるトマトタンパク質の定量法 ○森仁志 (名古屋大学大学院生命農学研究科)</p>
14:15	<p>果 014 セイヨウナシの雄性不稔性に関与するゲノム領域の解析 ○松田悠之介¹・森本拓也²・吉田眞雪²・Tam, Chun Lai³・池田和生⁴・白澤健太³・板井章浩¹ (1)京都府立大生命環境科学部,²京都府立大生命環境科学部,³理研,⁴山形大農学部,⁵かずさ DNA 研)</p>	<p>育種 (ナス) 淨閑正史</p> <p>野 013 pepy-1 によるペゴモウイルス抵抗性はトウガラシの高い果実生産性に寄与する ○Pohan, Nadya Syafira¹・Hayati, Rayhan²・Hadisah, Nurul²・Haidar, Yusuf²・Khalil, Munawar²・小野内美佳¹・Kesumawati, Elly²・小枝壮太¹ (1)近畿大院農学研究科,²Syiah Kuala 大学)</p>	<p>野 039 キュウリ先端肥大症の発生に影響する栽培条件 ○佐藤達雄¹・Satimunnaitum, Junjira²・室井輝¹・伊藤里菜¹・田代勇樹³・Antonius Febri, Hendratno¹・七夕小百合¹ (1)茨城大農 iFC,²東京農工大連合農学研究科,³岩手農研セ)</p>	<p>花 011 ストライプ模様のリンドウ白寿の RNA-seq 解析 ○中塚貴司¹・太田侑花¹・厚見剛²・吉田千春³・高橋重一³・清水元樹³・西原昌宏³ (1)静岡大総科技研究科,²産総研,³岩手工手研セ)</p>	<p>利 009 神奈川県育成ダイコン品種 '湘白' の硬さと細胞壁構造との関係 ○澤田幸尚¹・高田敦之¹・曾我綾香¹・上西愛子¹・渡邊清二¹・吉田誠 (神奈川農技セ)</p>
14:30	<p>果 015 リンゴとナシの属間交雑和合性に及ぼす種および品種の影響 ○太田大地¹・森本拓也²・関口遼²・章魯閏²・中野龍平³・板井章浩¹ (1)京都府立大生命環境科学部,²京都府立大院生命環境科学部,³京都大院農学研究科)</p>	<p>野 014 Tomato yellow leaf curl Kanchanaburi virus に抵抗性を持つナス素材の接木接種による抵抗性評価 ○吉川恭平¹・小枝壮太 (近畿大院農学研究科)</p>	<p>野 040 一般化線形モデル (Generalized Linear Models) を用いたスイカ品質へ影響を及ぼす気象要因の解析 ○千吉良敦史¹・中村耕士 (千葉農林総研セ)</p>	<p>花 012 一重咲きおよび八重咲きサクランボ品種の花器形態形成に関わる MADS-box 遺伝子の発現解析 ○水田大輝¹・橋本駿汰¹・山本大樹¹・上野真義²・窪田聡¹ (1)日本大生物資源科学部,²森林総研樹木分子遺伝)</p>	<p>利 010 青果物を混載で輸出する際のコンテナ内の温度が品質に与える影響 ○池ヶ谷篤^{1,2,3}・長藤亮彦^{1,2,3}・豊泉友康³・山崎成浩³・西家健宏^{4,5}・小杉徹³ (1)静岡農林環境専門職大短期大学部,²静岡農林環境専門職生産環境経営学部,³静岡農林技研,⁴国土交通省中部地方整備局,⁵静岡県交通整備部)</p>
14:45	<p>遺伝子解析 II・遺伝子組換え 西山総一郎</p> <p>果 016 ニホンナシ S2, S3, S4 ハプロタイプのゲノム構造解析と SFBB の探索 ○西村遼太郎^{1,2}・溝口桃香¹・張鏡月¹・藤本龍¹・安田 (高崎) 剛志¹ (1)神戸大院農学研究科,²農研機構果菜研)</p>	<p>野 015 複数台木苗の利用が '水ナス' の収量および根数に及ぼす影響 ○山崎基嘉 (大阪府立環境農林水産総合研究所)</p>	<p>栽培・育種 (アブラナ科) 彦坂晶子</p> <p>野 041 Leaf Photosynthesis Response to Leaf Orientation in Different Soil Moisture Content on Cabbage in Semi-closed Greenhouse ○Roni, Md Zohurul Kadir¹・Sato, Fumio¹・Fukuda, Machiko (Institute of Vegetable and Floriculture Sciences, NARO)</p>	<p>遺伝子解析 II・生理 中塚貴司</p> <p>花 013 ラン科植物の種子発芽に関わる諸因子の解析 ○神原昂太 (北海道大学農学部)</p>	<p>利 011 指輪型振動硬度計を用いたニホンナシのみつ症重症果の非破壊判別 ○吉田明広¹・押田正義 (千葉県農林総合研究センター)</p>
15:00	<p>果 017 カンキョウ種子特異的発現遺伝子 <i>MOTHER OF FT AND TFL1 (CuMFT)</i> の機能解析 ○澤山芽衣¹・徳原尚樹¹・野田孝幸²・肥後綾佑³・古藤田信博^{1,2,3} (1)佐賀大院先進健康科学研究科,²佐賀大院農学研究科,³佐賀大農学部)</p>		<p>野 042 新規ゲノム背景を持つアブラナ科植物 (ABC ゲノム) の作出と多様化に向けた体細胞融合の利用 ○新家鉄平¹・細川宗孝^{1,2} (1)近畿大院農,²近畿大アグリ技研)</p>	<p>花 014 グラジオラス小花の老化過程における WRKY および NAC 転写因子遺伝子の発現変動 ○山根健治¹・山崎和希²・鈴木智大³・北村里香¹・黒倉健¹ (1)宇都宮大農学部,²栃木県農業試験場,³宇都宮大バイオサイエンス教研セ)</p>	
15:15	<p>果 018 モモの <i>melting flesh (M)</i> 遺伝子座における <i>polygalacturonase (PG)</i> 遺伝子の発現差異 ○河井崇¹・渡邊咲音¹・那須優香¹・吉田侑城²・高田大輔³・佐藤守³・樋野友之⁴・藤井雄一郎⁴・福田文夫¹・中野龍平⁵・牛島幸一郎¹ (1)岡山大院環境生命科学研究科,²岡山大農学部,³福島大農学群,⁴岡山農研,⁵京都大院農学研究科)</p>		<p>野 043 キャベツ変異体 '不抽苔' の非開花性に関する遺伝様式の調査 ○木下有羽¹・元木航¹・細川宗孝^{2,3} (1)京都大院農学研究科,²近畿大農学部,³ATIRI)</p>		
15:30	<p>果 019 内在性プロモーターを用いたブルーベリーにおけるゲノム編集効率の向上 ○大森真史¹・山根久代¹・刑部祐里子²・刑部敬史³・田尾龍太郎¹ (1)京都大院農学研究科,²東工大生命理工学,³徳島大生物資源産学学部)</p>				
15:45					

第2日 3月21日(月・祝) 9:00～10:45

時間	果樹 I 1	野菜 I 2	野菜 II 3	花き I 4	利用 I 5
9:00	<p>ブドウ・カキ 西村遼太郎</p> <p>果 020 ブドウ 'シャインマスカット' における収穫時期の糖度予測法 ○柚木秀雄・星野智昭・中野葉子 (群馬県農業技術センター)</p>	<p>トマト I 白澤健太</p> <p>野 016 ナショナルバイオリソースプロジェクトトマト変異体プールから単離した形態変異コレクションの紹介と利用促進 ○杉本貢一・有泉亨・江面浩 (筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター)</p>	<p>栽培 (レタス) 中野伸一</p> <p>野 044 有効積算温度を用いたレタス生育モデルの検討 ○渡辺真千子¹・坂口優子^{1,2}・藤川哲平^{1,3}・興津敏広¹・亀山忠¹ (1)静岡県農林技術研究所²静岡県西部農林事務所³静岡県農芸振興課)</p>	<p>育種・遺伝資源・色・香り 高村武二郎</p> <p>花 015 <i>Delphinium nudicaule</i> と <i>D. luteum</i> の交雑種における花色について 須澤諒¹・小澤瑛乃¹・磯部知里²・坂口公敏²・河西崇²・辻本恭³・小関良宏³・宮原平¹ (1)千葉大学院園芸学研究所²株式会社ミヨシ³東京農工大学大学院工学研究科生命機能科学部門)</p>	<p>テーマセッション： 農学分野と工学分野を融合した 真のスマート農業の展望 平栗健史</p> <p>利 012 (総説) 農学分野と工学分野を融合した真のスマート農業の展望—ドローンハチを用いた AI 判定による花の受粉や栽培など— ○平栗健史・清水博幸・進藤卓也・伊藤彰彦 (日本工業大学)</p>
9:15	<p>果 021 AR マーカーを用いた画像解析によるブドウ果房重の推定技術 ○杉山洋行¹・宮部理子¹・金川梓¹・河村健²・関口英樹² (1)富山農林水産総合技術センター園芸樹研セ²富山広域普及指導セ)</p>	<p>野 017 多数の菌株を用いた青枯病抵抗性検定で確認された台木用トマトの品種間差 ○新村芳美¹・宮武宏治¹・西澤けい¹・松永啓¹・堀田光生² (1)農研機構野菜花き部門²農研機構農業環境部門)</p>	<p>野 045 リーフレタス植物工場栽培における LEDs バルブ光の効率照射法の開発 ○森田尚也・金地通生 (神戸大院農学研究所)</p>	<p>花 016 リーフレタス野生種における耐熱性機構の解明 ○森本隼人¹・原田千二郎²・斎藤春奈²・宿谷祥吾²・藤井栄歩²・山本将¹・半田高² (1)明治大研・知財戦略機構²明治大農学部)</p>	
9:30	<p>果 022 3D スキャナを用いたカキ果実発達の時系列解析 ○久住あかね・西山総一郎・田尾龍太郎 (京都大院農学研究所)</p>	<p>野 018 沖縄で単離された <i>lisanthus enation leaf curl virus</i> はトマトの <i>Ty-2</i> および <i>Ty-3a</i> による抵抗性を回避する ○谷口満理奈¹・関根健太郎²・小枝壮太¹ (1)近畿大院農学研究所²琉球大農学部)</p>	<p>野 046 可溶性有機物を多く含む有機廃液の養液栽培における有効利用 ○山本大造¹・淨閑正史²・塚越寛³・中野明正⁴ (1)千葉大院園芸学研究所²千葉大院園芸学研究所³千葉大環境健康フィールド科センター⁴千葉大 IMO)</p>	<p>花 017 ダリアの開花時および開花途中の花序の向き ○金山文也¹・出口亜由美¹・三吉一光 (千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>利 013 自律飛行ドローンによる圃場上空からの AI 画像解析 ○木村共孝¹・遠藤啓太²・平栗健史² (1)同志社大学²日本工業大学)</p>
9:45	<p>果 023 三次元電子顕微鏡法と機械学習によるカキタンニン細胞の微細構造イメージング ○西山総一郎¹・田尾龍太郎¹・米森敬三² (1)京都大院農学研究所²龍谷大 REC)</p>	<p>野 019 トマト育苗中に 660nm 赤色 LED 光照射するとミカンキイロアザミウマに対する防御反応を獲得する ○大矢武志¹・浜田泰子¹・金満伸央²・安部洋³ (1)神奈川農技セ²共立電照³理研 BRC)</p>	<p>野 047 太陽光型植物工場での葉菜類養液栽培における日射比例量的管理法 ○渡辺爽¹・淨閑正史²・中野明正³・塚越寛⁴ (1)千葉大院園芸学研究所²千葉大院園芸学研究所³千葉大 IMO⁴千葉大環境健康フィールド科セ)</p>	<p>開花・収穫後生理 白武勝裕</p> <p>花 018 Sugar leakage into the vase water and their relation to sugar dynamics in cut dahlia ○楊颯・土井元章 (京都大院農学研究所)</p>	<p>利 014 雷音によるシイタケ発生促進手法の提案 ○清水博幸¹・平栗健史¹・高梨琢磨²・向井裕美²・高木浩一³ (1)日本工大基幹工学部²森林総合研究所³岩手大理工学部)</p>
10:00		<p>トマト II 大矢武志</p> <p>野 020 トマト単為結果性変異体の生理学的解析 ○野村悠華子¹・陸宇²・原田圭一郎³・矢野亮⁴・小嶋美紀子⁵・竹林裕美子⁵・榎原均^{5,6}・江面浩^{2,7}・有泉亨^{2,7} (1)筑波大院生命地球科学研究群²筑波大生命環境系³筑波大院生命環境科学研究科⁴農研機構高度分析研究センター⁵理化学研究所⁶名古屋大生命農学研究所⁷筑波大つくば機能植物イノベーション研究センター)</p>	<p>栽培 (ホウレンソウ他) 山崎敬亮</p> <p>野 048 春夏どりニンジンの花芽分化と抽苔の特性 ○山下雅大・安藤利夫 (千葉農林総研セ)</p>	<p>花 019 深層学習モデルを用いたハナスベリセユの花持ち性評価 ○石森元幸 (東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>利 015 人工受粉における使用花粉量削減を目的とした静電風圧式受粉機の圃場評価 ○大槻拓海¹・山根俊²・磯部卓文¹・荒木勇二¹・飯田康平¹ (1)静岡農技研果樹研セ²静岡農技研)</p>
10:15	<p>テーマセッション： カンキツの多様性の解明 および田中長三郎資料の 発掘と分類体系の評価 北島宣</p> <p>果 024 カンキツの多様性の解明および田中長三郎資料の発掘と分類体系の評価—田中長三郎のカンキツ分類とアジア地域の在来カンキツの多様性— ○北島宣¹・山本雅史²・清水徳朗³・伊藤謙⁴・中村彰宏⁵・山崎安津³・中野道治⁶ (1)京都先端科学大バイオ環境学部²鹿児島大農学部³農研機構果樹茶部門⁴大阪大総合学術博物館⁵大阪府大生命環境科学研究科⁶高知大農林海洋科学部)</p>	<p>野 021 群落内外の相対光量に基づく摘葉がトマトの糖度に及ぼす影響 ○小泉明嗣・高田敦之 (神奈川農農業技術センター)</p>	<p>野 049 植物工場における発芽と育苗の条件がホウレンソウの生育および品質に与える影響 ○平井裕二¹・大嶋泰平¹・松井共生²・渡邊博之² (1)西松建設(株)²玉川大農学部)</p>		
10:30		<p>野 022 トマト糖含有量の季節変動と栽培環境との関係解明 ○堀悠花¹・塚越寛²・中野明正³・淨閑正史⁴ (1)千葉大院園芸学研究所²千葉大環境健康フィールド科セ³千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>野 050 植物工場環境におけるホウレンソウの生産方法の検討 ○大嶋泰平¹・平井裕二¹・松井共生²・渡邊博之² (1)西松建設(株)²玉川大農学部)</p>		
10:45					

第2日 3月21日(月・祝) 10:45～11:45

時間	果樹 I 1	野菜 I 2	野菜 II 3	花き I 4	利用 I 5
10:45	果 025 田中長三郎研究からはじまる地方創生—和歌山県における分野横断的社会実装の取り組み— ○伊藤謙 ¹ ・北島宣 ² (1大阪大学総合学術博物館, ² 京都先端科学大バイオ環境学部)		野 051 有機液肥,アーバスキュラー菌根菌およびパートナー細菌を導入した底面給水型水耕栽培におけるヨウサイ (<i>Ipomoea aquatica</i> Forsk.) の生育特性 ○松原智子 ((一財) 沖縄美ら島財団総研セ)		
11:00	果 026 国立臺灣大学における田中長三郎のさく葉標本のアーカイブ化 ○中村彰宏 ¹ ・北島宣 ² (1大阪府立大学大学院生命環境科学研究科, ² 京都先端科学大バイオ環境学部)	ミニトマト 小泉明嗣 野 023 房どりミニトマト生産のための底面給液型養液栽培 NSP の特性評価 ○上野まりな ¹ ・塚越寛 ² ・淨閑正史 ⁴ ・中野明正 ³ (1千葉大園芸学部, ² 千葉大環境健康フィールド科セ, ⁴ 千葉大院園芸学研究院, ³ 千葉大 IMO)			
11:15	果 027 南アジアから太平洋島嶼域における在来カンキツの分布および特性の解明 ○山本雅史 ¹ ・北島宣 ² (1鹿児島大農学部, ² 京都先端科学大バイオ環境学部)	野 024 ロボット収穫に適するミニトマトの諸性質 ○友部きらら ¹ ・上野まりな ¹ ・淨閑正史 ² ・塚越寛 ³ ・中野明正 ⁴ (1千葉大園芸学部, ² 千葉大院園芸学研究院, ³ 千葉大環境健康フィールド科セ, ⁴ 千葉大 IMO)			
11:30	果 028 ゲノムから見たカンキツ品種の系譜と田中長三郎の分類体系の再考察 ○清水徳朗 ¹ ・北島宣 ² (1農研機構果樹茶部門, ² 京都先端科学大バイオ環境学部)				
11:45					